



令和4年度 山形県飯豊少年自然の家 <指定管理者㈱ヤマコー> 所報

ひめさゆり1月号

〒999-0605 西置賜郡飯豊町大字添川 3535-33 TEL 0238-74-2331 FAX 0238-72-2342

いいでスノーランドオーブン!

山形県飯豊少年自然の家 所長 吉水 順一

新しい年“2023年”を迎えての本所の活動は子ども達に大人気のスノーチューブすべりです。

年明け積雪が少なかったのですが、ホームリーダーの皆様のおかげでスノーチューブすべりのゲレンデを整備することができました。

1/14(土)の“スノーランドフェスティバル”からスノーチューブすべりを楽しんでいただいております。ほぼ毎日、午前と午後にゲレンデからは子どもたちの歓声が聞こえています。

なお、スノーチューブすべりは屋外の活動ではありますが、コロナ対策としてチューブの使い回しや2人乗り等をしてないルールを設けさせていただいております。利用団体の皆様からのご理解とご協力をいただきながら、楽しんでいただいております。

わくわくスノーランドのご利用は、2月の末まで続きます。コロナ対策も含めて、安心、安全に、スノーチューブすべりを楽しんでいただけるよう、ゲレンデの整備に努めてまいります。いいでスノーランドで多くの方々に“雪を使った体験”を味わっていただけるよう願っております。

1月中旬の暖冬の影響で、ゲレンデの維持管理が危ぶまれました。そこで、今年度から毎日のゲレンデコンディションをInstagramにて公開し、利用者にも状況を確認していただけるよう整備いたしました。ぜひご覧ください。



1月18日にシェアされた投稿
@yama_ko

InstagramQRコード

第3回自然大好き!いいでクラブ

12月17日(土)に第3回いいでクラブを開催しました。目玉となるプログラムは「門松作り」です。今年はビッグサイズで作っていただきました。家族で協力し、竹をのこぎりで切ったり、畳表をまいたり、一人一人が挑戦するところも多く、それぞれ工夫を凝らした世界に一つだけの門松が出来上がりました。

その後は、久しぶりの「餅つき体験」をおこないました。杵を上手に使って、よろめきながらも「よいっしょ」と頑張っ

ってつくことができました。ひと足早くお正月気分を味わっていただいた一日となりました。



親子で力を合わせて竹を切る



火であぶって竹の表面のつやだし



親子できれいな飾り付け



親子で餅つき体験

スノーランドフェスティバル

1月14日(土)にスノーランドフェスティバルを開催しました。昨年は、コロナの影響で中止したので、2年ぶりのスノーランドフェスとなりますが、定員を超える申込みをいただく盛況ぶりとなりました。本当にありがたいことです。

さて、本事業は、スノーランドのオープンイベントという位置付けもあり、家族の皆様にも「県内最大級」のグレンデの「すべり初め」をしていただきました。天候の心配もなく、グレンデのコンディションはますますで、スノーチューブすべりを存分に楽しんでいただけたと思っております。そうした様子は、今年度の本所のスローガンである「広げよう笑顔とび出そう自然へ！」をまさに体現しているようでもありました。

そして、今回も本所のボランティアスタッフであるアドベンチャーファミリー(ホームリーダー)の方々にご協力いただき、安全に楽しく活動することができました。あらためて感謝申し上げます。



緊張のスタート



豪快なチューブスライド



親子でチューブすべり



スノーフラッグ「とったどー」



ミニグレンデでも楽しみました



雪上ストラックアウト



フードコーナー



親子で焼きマッシュマロ

青少年の体験活動の「意義」と「効果」を一緒に学びましょう！

体験活動は、幼少期から青年期まで、多くの人と関わりながら体験を積み重ねることにより、「社会を生き抜く力」として必要となる基礎的な能力を養う効果があると考えられています。社会で求められる仲間とのコミュニケーション能力や自立心、主体性、協調性、チャレンジ精神、責任感、創造力、異なる他者と協働する能力等を育むためには、様々な体験活動が不可欠です。

また、体験活動は、自分自身との対話、実社会との関わり等を考える契機となります。自然の中で、これまで触れたことのないものに触れながら、その存在を認める経験を積むことで、大人になり思いどおりにならない状況に直面したときにも対応できる力が付くと期待されています。

人間関係をうまく作れない、規範意識が欠けている、ささいなことでも感情を抑えられないなど、青少年が抱える様々な課題解決への一つのアプローチとして、また、課題の未然防止のためにも体験活動は有効とされています。楽しみながらいろいろな世界の入り口を見せることができる体験活動や、学校から離れた自然の中で人や自然とつながる経験などを通じて、日常生活を客観的に見つめ直すことができます。個々の子供の状況と発達段階を慎重に見極めた上で、こうした教育の機会を提供することにより、基本的なコミュニケーション能力や生活習慣を身に付け、子供の社会性や「思いやり」など豊かな人間性を育み、人間関係形成力を育成することが重要です。

そのため、幼少期から、家族や地域、自然の中での豊富な刺激と体験活動を発達段階別・学校段階間に連続して継続的に行うことが、一層効果的と考えられます。

引用 <https://jeel.or.jp/>

https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpab201701/detail/1398111.htm

～ お知らせ ～ 令和5年度から指定管理者が交代します

平成29年度から2期6年にわたり、株式会社ヤマコーが本所の指定管理者として業務を行ってまいりました。

令和5年4月1日から、新しく株式会社飯豊町地域振興公社が管理運営を行うこととなりました。主催・企画事業、受入れ事業等は今年度同様実施いたしますが、年度始めの業務でご迷惑をお掛けすることがあるかもしれません。何卒ご理解の上、ご協力をお願いいたします。